

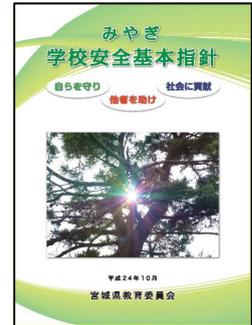
「必ず身に付けさせたい事項と内容」の活用方法

作成のポイント

Point 1 「必ず身に付けさせたい事項と内容」について

「必ず身に付けさせたい事項と内容」は、「みやぎ学校安全基本指針」（宮城県教育委員会 平成 24 年 10 月発行）の災害安全に関する内容を有効に活用できるよう作成しました。発達段階に応じて、災害安全において指導すべき内容ごとに整理してあります。また、それぞれの指導内容に合わせて活用できる「指導資料」のリンクも貼り付けられています。指導の参考にしてください。

（「みやぎ学校安全基本指針」第 3 章参照）



Point 2 「学校安全年間計画の内容例」について

防災教育を体系的・系統的に指導できるよう「学校安全年間計画の内容例」を安全教育分野のみまとめました。「必ず身に付けさせたい事項と内容」へのリンクが示されています。各校の学校安全計画の作成や改善、指導内容の指針としても活用できます。

（「みやぎ学校安全基本指針」第 4 章参照）

「学校安全年間計画の内容例」からの活用イメージ

① 「学校安全年間計画の内容例」から、指導内容を確認する。

② 「必ず身に付けさせたい事項と内容」から、「必ず身に付けさせたい事項」「具体的な指導内容」「指導時期等」「主な指導場面」を把握する。

③ 指導に活用できるリンクが貼られた「指導資料」を参考にする。

④ 児童生徒等へ指導実践する。

⑤ 振り返り、次の指導へ生かす。

① 「学校安全年間計画の内容例」から「必ず身に付けさせたい事項と内容」へのリンクが示されます。
例：低学年7月・8月「落雷の危険」をクリック

安全指導	学級活動	低学年	<ul style="list-style-type: none"> ●通学路の確認 ◎安全な登下校 ●安全な給食配膳 ●子ども110番の家の場所 ●避難経路の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ●休み時間の約束 ◎防犯避難訓練の参加の仕方 ●遠足時の安全 ●運動時の約束 	<ul style="list-style-type: none"> ●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自転・乗車時の約束 ●落雷の危険 ●局地的大雨の危険
		中学年	<ul style="list-style-type: none"> ●通学路の確認 ◎安全な登下校 ●安全な清掃活動 ●誘拐の起こる場所 ●避難経路の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ●休み時間の安全 ◎防犯避難訓練への積極的な参加 ●遠足時の安全 ●運動時の約束 ◎防犯教室 	<ul style="list-style-type: none"> ●雨天時の安全な過ごし方 ◎安全なプールの利用の仕方 ●防犯にかかわる人たち 	<ul style="list-style-type: none"> ●夏休みの安全な過ごし方 ●自転車乗車時のきまり ●落雷の危険 ●局地的大雨の危険
		高学年	<ul style="list-style-type: none"> ●通学路の確認 ◎安全な登下校 ●安全な委員会活動 ●交通事故から身を守る ◎身の回りの犯罪 ●避難経路の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ●休み時間の事故とけが ◎防犯避難訓練の意義 ●交通機関利用時の安全 ●運動時の事故とけが 	<ul style="list-style-type: none"> ●雨天時の事故とけが ◎救急法、着衣水泳 ●自分自身で身を守る ●防犯にかかわる人たち 	<ul style="list-style-type: none"> ●夏休みの事故と防止策 ●自転車の点検と整備の仕方 ●落雷の危険 ●局地的大雨の危険

「小学校 学校安全年間計画例より一部抜粋」

② 関連する「必ず身に付けさせたい事項と内容」へジャンプします。指導内容など確認してください。「指導時期・指導場面」の凡例も各ページにまとめられています。
例：低学年 4「風水害による被害」(7)「落雷の被害に備えて」へジャンプ

(7)落雷の被害に備えて			指導時期等	主な指導場面	指導資料
No	必ず身に付けさせたい事項	具体の指導内容			
①	雷により死傷事故が発生していることを知る。	1) 雷は危険である。	→	教・行	<ul style="list-style-type: none"> ・落雷から身を守るには(気象庁) ・リーフレット「竜巻・雷・強い雨ーナウキャストの利用と防災ー」(気象庁) ・雷とは(気象庁)
②	雷が落ちやすい危険な場所や条件があることを知る。	1) 雷が落ちやすいところとして、グラウンド、テニスコート、ゴルフ場、屋外プール、海などがある。	○	教・行	
		2) 遠くの方で雷が聞こえていても、頭の上に雷雲がある時は、自分に落雷する可能性がある。	→	教・行	
		3) 傘には落雷しやすいので使わない。	→	教・行	
③	雷からの避難に適切な場所を知る。	4) 大きな木には落雷しやすいので避難しない。	→	教・行	
		1) 外にいて雷鳴が少しでも聞こえたら安全な建物等に避難する。	→	教・行	

「低学年 必ず身に付けさせたい事項と内容 4 風水害による被害より一部抜粋」

凡 指導時期：○機会を捉えて指導する時期、→継続指導の時期、◎重点的に指導させる時期
例 指導場面：教＝教科等、H＝HR等、行＝学校行事、部＝部活動等、日＝日常

③指導に活用できるウェブサイトへリンクされています。
例：気象庁のウェブサイトへジャンプ